

令和3年度 転入職員紹介

今年度、11名の教職員が新たに本校に転入となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

校長	堀内 隆功	下川町立下川小学校より
教諭	山中 芳子	旭川市立旭川小学校より
教諭	鏡 雄介	東神楽町立東聖小学校より
教諭	土屋 洋輔	富良野市立扇山小学校より
教諭	松村 由貴	上富良野町立上富良野小学校より
教諭	新妻 葉月	名寄市立名寄西小学校より
教諭	太田 帆南	旭川市立大有小学校より
給食従事員	佐藤 恵	美瑛町立美瑛東小学校より
給食従事員	澤田 郁代	美瑛町立美瑛中学校より
給食従事員	水野みゆき	新規採用
給食従事員	村上 祐嘉	新規採用



令和3年度 美瑛小学校教職員

校長	堀内 隆功
教頭	石坂 剛
教諭	荒谷 里沙 1年1組担任
教諭	土屋 洋輔 2年1組担任
教諭	加藤 周大 2年2組担任
教諭	柿崎 清澄 3年1組担任
教諭	松村 由貴 3年2組担任
教諭	高梨 真澄 4年1組担任
教諭	鏡 雄介 5年1組担任
教諭	渡邊 拓真 5年2組担任
教諭	田村 仁 6年1組担任
教諭	貫田 航 6年2組担任
教諭	紺谷 宏子 ステラ学級担任
教諭	佐藤 文彦 ステラ学級担任
教諭	池田奈津子 ステラ学級担任・コーディネーター
教諭	落合 敏人 ステラ学級担任
教諭	中田亜希子 ステラ学級担任
教諭	植村 靖志 ステラ学級担任
教諭	太田 帆南 ステラ学級担任
教諭	掛川 雅弘 ステラ学級担任
教諭	福嶋 里香 ステラ学級担任
教諭	山中 芳子 特別支援教育コーディネーター
教諭	幸坂 裕徳 教務主任
教諭	山口 有士 少人数習熟度別指導担当
教諭	増子 淳一 プログラミング教育指導担当
教諭	新妻 葉月 英語専科
教諭	伊山亜砂子 ことばの教室担当
教諭	石塚 雅子 ことばの教室担当
教諭	斎藤 昌子 ことばの教室担当
養護教諭	三ツ橋和菜 保健主事
栄養教諭	中田 朝子 食育担当
事務職員	森 裕晶 事務管理部長
教諭	村上 智子 育児休業
教諭	志田 沙和 育児休業
養護教諭	別所 怜奈 育児休業
A L T	スズキ・ジュシカ・ダニエル 英語指導助手
教育助手	中村 統
支援専門員	森田 歩
支援専門員	松下 澄代
支援専門員	三上 千佳
スクールサポートスタッフ	結城 詞子
事務生	清田 英之
公務補	江藤 勲
公務補	鈴木 祐之
給食従事員	藤林 宏美 打田麻也子 長部菜都美
	佐藤 恵 澤田 郁代 水野みゆき
	村上 祐嘉

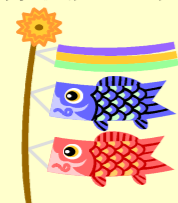
令和3年度 P T A役員

会長	佐藤 邦彦 (6の2)
副会長	竹内 幸司 (5の1)
副会長	成瀬 弘記 (6の1)
副会長	辻 亜希子 (6の2)
監査	西本 哲史 (5の1)
監査	村井 隆之 (5の2)
会計	二井田 航 (4の1)
(学校)	
事務局長	石坂 剛
書記	幸坂 裕徳 鏡 雄介
会計	森 裕晶



5月の主な行事予定

5月 3日(月)	憲法記念日
4日(火)	みどりの日
5日(水)	こどもの日
6日(木)	金曜日課 内科検診1・2年 委員会活動
7日(金)	木曜特別日課 職員会議
10日(月)	特別日課5時間 保護者面談～17日 A L T学習2年
11日(火)	歯科検診1～3年
12日(水)	尿検査(再) 学校運営協議会
17日(月)	学納金引落日
18日(火)	特別日課5時間 保護者面談(4年) P T A総役員会・四役会議
19日(水)	ふるさと学習3年
20日(木)	集団下校訓練
21日(金)	クラブ活動
24日(月)	運動会特別日課開始 食育3の1
26日(水)	特別日課
27日(木)	金曜日課 内科検診3・4年 全国学力・学習状況調査6年
28日(金)	木曜特別日課



きみかけそう



美瑛町立美瑛小学校
学校通信
第249号
令和3年4月30日

学校教育目標 健康で、豊かな心を持ち、実践力のある児童の育成
「自ら学ぶ子(やる気) 支え合う子(こん気) たくましい子(げん気)」

「教育」は「共育」で

校長 堀内 隆功

4月6日(火)には着任式及び始業式、そして翌7日(水)には入学式が行われ、初々しい1年生27名を迎え、全校児童253名で令和3年度がスタートしました。

始業式ではリモートで行いましたが、画面越しの、新しい学年に進級した子どもたちの決意表明や凛とした姿勢に、新たな期待と強い自覚を感じました。また、入学式では、新1年生のしっかりと話を聞く姿や瞳の輝きに、やる気や喜びが伝わってきました。

わたしたち教職員も、その姿を目に焼き付けながら、一人一人のよさや可能性を育んでいきたいと決意を新たにしましたところです。



表題に「教育」は「共育」でと書きました。子どもの成長を考えたとき、学校生活のみならず、放課後や休日の少年団、習い事、地域でのかかわり、友達とのかかわり、そして家庭での生活なども、どれも子どもの大事な日常です。本来、まるごとトータルで子どもを理解することにより、子どもの言動や行動における生活上の根拠の一つ一つがわかるのだと思います。子どものつまづきも、まちがいの、ゆがみも、成長する上で意味を持たないものではありません。それは言い換えれば、きっと教育的な働きかけを必要とする場面でしょう。もちろん、学校だけでは対処できることは多くはありませんので、やはり保護者や地域、関係機関も、それぞれの機能を発揮しつつ、互いの連携が必要になってきます。その姿勢を常に持っていたいと考えます。

そのときに関係者と共有しておきたいのが、義務教育9年間で「目指す子ども像」(下記参照)です。ありがちで当たり前のような文が並んでいるように見えるかもしれませんが、例えば、親として、ほめたり励ましたりするときの観点として捉えてみるとどうでしょうか。もちろん、発達段階や実態に即して、さらにかみ砕いた言葉や易しい表現にしてもいいでしょう。

それぞれの生活場面での成長の積み重ねを共有し合える、そして子どもの成長を通して教師と保護者が共に育ち合う、そんな関係が生まれることを願っています。



「目指す子ども像」(美瑛小学校)

自ら学ぶ子(やる気)	支え合う子(こん気)	たくましい子(げん気)
○正しい判断で、勇気をもって行動する子	○相手の立場を考えて行動する子	○進んで運動する子
○自分の考えをもち、工夫して解決する子	○みんなと協力し、助け合って生活する子	○めあてに向かってがんばる子
○自信をもって自分のよさを表現する子	○生命を尊重し、感動する子	○明るく希望をもって生活する子

「目指す生徒像」(美瑛中学校)

知識・理解	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
○生きて働く知識・技能を確実に身につける生徒	○失敗を恐れず果敢に挑むチャレンジ精神を持つ生徒	○他者と目標を共有し、協働して解決できる生徒

学校としても、教育活動を通じた子どもの変容や成長が、保護者にとって頼りがいのある学校に、地域にとって親しみのある学校に、そして教員にとって働きがいのある学校に、とつながっていくものと考えています。「地域とともにある学校」として、地域に開かれた、信頼される学校であり続けるよう努力していきます。この1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



美瑛の未来をたくましく拓く人を育てる

美瑛町学校教育方針

『輝く個性と豊かな心で、美瑛の未来をたくましく拓く人を育てる』

基本目標

『生涯学び続ける基礎となる「生きる力」を身につけ、自然豊かで潤いのある美瑛を担う人を育てる学校教育の推進』

推進目標

- 学ぶ楽しさや、わかる喜びを実感できる学びの指導を（知育）
- 他者との関係を豊かにし、自他の生命を大切にすることの指導を（徳育）
- 健やかで、たくましく生きる力を育てる健康の指導を（体育）

中期目標

『学ぶ力を育てる』

重点目標

『学びに向かう』

【社会で生きる力の育成】

- ①確かな学力の充実
- ②支援教育の充実
- ③外国語・キャリア教育の充実
- ④情報教育の充実

目標指標

- ①全国学力・学習状況調査、チャレンジテストで全道平均↑、全学年 CRT 検査前年度より2P↑
- ②支援教育の視点を踏まえた支援委員会の実施：年4回
- ③「専科の先生と学習することにより外国語の学習がよく分かる」とする児童80%↑
- ④日常的にICT機器を活用した授業を実施100%

具体方策

- ①少人数習熟度別指導や専科教員との連携及びサポート問題や過去問題の確実な実施
- ②実態把握をもとにしたアセスメントの実施とUD（ユニバーサルデザイン）を意識した指導の実践
- ③外国語教育指導教師による指導及び授業公開と協議による指導力向上
- ④ICT担当を中心とした実践、ミニ研修やプログラミング教育を取り入れた授業、ICTを活用した授業の公開

【豊かな人間性の育成】

- ①道徳教育・ふるさと教育の充実
- ②いじめ防止の取組・不登校児童支援の充実

目標指標

- ①全学級による「特別の教科 道徳」の授業公開及び交流（研修または参観授業）と、「ふるさと教育を通して美瑛町を理解できた」とする児童70%↑
- ②いじめ防止に向けた組織的な取組の充実（積極的認知）

具体方策

- ①道徳の学習で活用したワークシートを保管し、児童の道徳性の成長や変容を前向きに捉える。また、参観日にて道徳の学習を公開し、また、体験的な活動を積極的に取り入れた「ふるさと学習」の実践
- ②いじめアンケート、教育相談を通じて、児童理解に努め、いじめの早期発見・早期解消を図る。

【健やかな体の育成】

- ①体力・運動能力の向上
- ②健康教育の充実

目標指標

- ①児童の運動への意欲85%、将来（中学校に進んだら）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと考える児童65%↑
- ②手洗い・やうがいを積極的に行ったとする児童82%↑

具体方策

- ①体育授業や体力向上を目指す取組の改善、運動を日常化するための取組の工夫
- ②健康を守る基本の手洗い・うがいを徹底する全学的な取組の推進（朝、給食前、掃除後）規則正しい生活習慣確立のために保健体育や学級活動、道徳における指導及び保護者への呼びかけ年間指導計画に沿った食に関する指導の実施

【学びを支える地域・家庭との協働】

- ①家庭教育支援の充実
- ②地域との連携・協働の推進（コミュニティースクールの充実）

目標指標

- ①ノーTV、ノーGAME日の確実な設定（年3回）
- ②登下校時における交通事故等件数0
- ③学校運営協議会の年4回実施及び地域と一体となった活動の実施
- ④児童館との定期的な情報交流（隔週）、生徒指導上課題を抱える児童の情報の共有（随時）

具体方策

- ①上川スライド30と合わせた保護者への啓発活動
- ②「PTA安全安心あいさつ見守りカレンダー」による安全な環境づくり
- ③学校運営委員への学校行事参加の働きかけ、学校だよりの配布
- ④訪問交流、行事参加への依頼、学校だよりの配布

【学びをつなぐ学校づくりの推進】

- ①学校段階間の連携・接続の推進
- ②働き方改革の推進
- ③安全教育の充実（危機管理・コロナ対策）

目標指標

- ①町内の教育機関への授業参観（年1回）、小中交流学習事業の実施（年3回）
- ②全教員による授業公開（校内研修・研究）
- ③教員の在校等時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間を1か月で42時間以内、1年間で320時間以内となることを目指す。
- ④コロナ対策に取り組む学校体制の確立

具体方策

- ①町教育推進協議会と連携した交流学習の実施
- ②スチューディアーマ、ミニ研修等の実施
- ③コアチームによる働き方の見直し・改善
- ④コロナ感染防止に対応した安全教育の推進

目指す教職員の姿

- ①常に研鑽し、成長する教職員
- ②チーム美瑛小として、協働し、解決する教職員

目指す子どもの姿

- ◇自ら学ぶ子（やる気）
- ◇支え合う子（こん気）
- ◇たくましい子（げん気）

【学びの基礎を育む全校活動】

- ◇基礎学習タイムによる基礎・基本の充実
- ◇新しい時代に求められる資質・能力を育成する授業づくり
- ◇ICT機器（情報端末）を活用したきめ細やかな授業の充実
- ◇共通理解に基づく学習過程・学習規律を大切に学習の充実
- ◇「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の充実

- ①子どもが学年×10分+10分家庭学習を行うようにします。
- ②ゲーム・テレビの時間を子どもと話し合って決定します。

【地域環境を生かした「美瑛体感ふるさと学習」】

- ◇農業体感ふるさと学習
 - ・花、野菜の栽培活動
 - ・農作業体験
 - ・農業体験施設活用
- ◇自然体感ふるさと学習
 - ・公園の生き物とのふれあい・白金地区の自然探索
 - ・山岳や丘の自然魅力発信
- ◇世代体感ふるさと学習
 - ・まち探検活動、町施設体験活動
 - ・福祉体験活動
 - ・異世代交流活動

- ①住んでいる町のよさを様々な体験を通して子どもたちに発見させます。
- ②学校であったことについて子どもと話す時間を必ず作ります。

【命を守り育む健康安全教育】

- ◇防災教育
 - ・十勝岳火山学習
 - ・十勝岳防災施設学習
 - ・北海道シェイクアウトへの参加
- ◇食育
 - ・食の大切さを育む食に関する指導・食習慣の定着を図る給食指導・自然の恵み味わう行事給食
- ◇安全指導
 - ・命を守る避難訓練
 - ・安心安全あいさつ見守り隊
 - ・通学路安全マップ

- ①子どもが早寝・早起き・朝ごはんに努めるようにします。
- ②しっかりと睡眠がとれるように子どもの生活リズムを見取ります。

【家庭・地域と連携した開かれた学校】

- ◇教育機能を活用した連携
 - ・家庭学習充実週間の児童館との連携
- ◇夢を育むキャリア教育
 - ・アスリートによる夢先生
 - ・地元陶芸家による陶芸教室
 - ・「みん☆と」による読み聞かせ
- ◇学校運営協議会との連携による学校評価
 - ・年2回の自己評価、保護者・児童アンケート
 - ・学校運営委員によるアンケート評価など

- ①PTA行事・地域行事に子どもと一緒に参加します。
- ②美瑛小学校児童を自分の子どもだと思って接します。

【学びを保障する学校づくり】

- ◇小中高との連携による授業交流や職員研修の充実と幼小のスムーズなつながりを意識した教育活動
- ◇教職員の資質向上を目指した教育の不易と流行を読んだ研修活動の充実
- ◇多忙化改善のための校務運営の効率化と業務推進状況の確認
- ◇「新しい生活様式」の定着と安全意識の向上

- ①町や学校で行われる子育ての研修会などに積極的に参加します。
- ②子どもの模範となる親となるよう努力します。